

聖霊降臨節第8週 歓迎礼拝

2019年7月28日 第一礼拝(午前8:00~) 歓迎礼拝(午前10:30~) 子ども夕拝(午後7:30~)

第1部	プレイス アワー PRAISE HOUR (賛美の時)	
※歓迎の賛美	同
証し・洗礼式	諸橋 英樹兄
第2部	バイブル アワー BIBLE HOUR (みことばの時)	
聖書朗読	『マルコの福音書』2章13-17節(新約p.67)	司 会 者
黙 想	同
メッセージ	「キリストにだけ頼りなさい」	近 伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌208「イエスは愛で満たす」	同
感謝の献金	(新聖歌58)	同
感謝の祈り	横堀 正美兄
諸 案 内	(来信・集会案内)	司 会 者
諸 報 告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	司 会 者
※頌栄の賛美	新聖歌198「GOD BLESS YOU」(1節のみ)	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照)	同
※祝福の祈り	近 伸之牧師
※後 奏	(新聖歌59-7)	

第3部 フェロシップアワー
FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします。)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります。)

第一礼拝	司 会 : 近 伸之牧師 説 教	音 響 : 片山 勝三兄 献 金 : 沼田佐代子姉	
司 会 集	会 : 山崎 敬典兄 会 : 笹川 清子姉 (長谷川睦子姉)	映像・音響 : 片山 浩司兄 説教の録画 : 近 伸之牧師	C S 担 当 : 佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

『マルコの福音書』2章13-17節

- 13 イエスはまた湖のほとりに出て行かれた。すると群衆がみな、みもとにやって来たので、彼らに教えられた。
- 14 イエスは、道を通りながら、アルパヨの子レビが収税所にすわっているのをご覧になって、「わたしについて来なさい」と言われた。すると彼は立ち上がって従った。
- 15 それから、イエスは、彼の家で食卓に着かれた。取税人や罪人たちも大ぜい、イエスや弟子たちといっしょに食卓に着いていた。こういう人たちが大ぜいいて、イエスに従っていたのである。
- 16 パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちといっしょに食事をしておられるのを見て、イエスの弟子たちにこう言った。「なぜ、あの人は取税人や罪人たちといっしょに食事をするのですか。」
- 17 イエスはこれを聞いて、彼らにこう言われた。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

個人、団体からの来信

2019年7月28日

PBAよりDVD/「Move On !」2019初夏/
新潟福音放送協力会財務より諸連絡/
亀田キリスト教会の松下牧師より、懇話会後の連絡メール

先週の集会出席者数

7/21(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女兒計4 成人女性2
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回書道教室を開催
	第二礼拝(子ども)	男13 女20 男児2 女児5	7/22(月) 月曜家庭集会 男1 女3 7/24(水) 分かち合い僚禱会 男2 女6
	夕 拝	男2(球1) 女1	7/26(金) しゃべり場夕ピタ 男- 女3 7/26(金) 金曜祈禱会 男2 女4

諸集会のご案内

	※月に一回書道教室を開催		
月曜家庭集会	7/29(月)午後8:00	山崎岩雄兄宅にて	
バルナバ祈禱会	7/31(水)午後7:30	教会堂	司 会 : 横堀 正美兄
しゃべり場夕ピタ	8/2(金)午後1:30	渡邊智子姉宅にて	問合先 : 長谷川睦子姉
金曜祈禱会	8/2(金)夜	教会堂	

8/4(日) 聖霊降臨節第9週

第一礼拝 午前8:00	司 会 : 近 伸之牧師 説 教	音 響 : 片山 勝三兄 献 金 : 沼田佐代子姉	聖餐準備 : 笹川 清子姉 配 賛 : 伊東 一馬兄
教会学校 午前9:00	担 当 : 片山 初子姉		
聖餐礼拝 午前10:30	司 会 : 近 伸之牧師 集 会 : 長谷川睦子姉 (横堀 信子姉)	映像・音響 : 片山 健司兄 山岸あけみ姉	説教の録画 : 近伸之牧師 感謝祈禱 : 調整中 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	7/28[佐藤兄] 8/4[片山姉] 8/11[近牧師] 8/18[佐藤兄] 8/25[片山姉]		
掃除当番順	7/28[横堀姉] 8/4[渡邊姉] 8/11[猪爪姉] 8/18[片山姉] 8/25[小林姉]		
主日の予定	CS教師会 定例役員会	愛餐後 会計後	礼拝堂
夕 拝 午後7:30	司 会 : 近 伸之牧師 説 教	聖書 : 『使徒の働き』9章23-31節	

報 告

- 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。本日諸橋英樹兄が洗礼を受けて教会の一員とされたことを感謝します。この後は第3部として交わり(昼食)の時を持ちます。また、その後は賛美練習などをします。
- 教会学校の行事について
本日午後7:30より当教会において子ども向けの夕拝を持ちます。夕拝後、お楽しみプログラムを持ち、希望者は会堂で宿泊、明日朝食をとって午前10:00頃に解散の予定です。詳細や申込みは片山初子姉が窓口となっていますのでよろしくお願い致します。なお、7月20日(土)に当教会で行ったアイスクリームパーティーには鈴木りょうくん、れんくん、るいくんが導かれました。感謝します。

今週の暗唱聖句

「このイエス・キリストはすべての人の主です」(『使徒の働き』10章36節)

誰かのために何かをしてあげようとするのは、いいことに違いないのですが、それが往々にして、「こちらはしてあげる人」、「相手はしてもらう人」という関係をつくりあげてしまい、知らず知らずのうちに、優越感と卑屈さのギャップができてしまったりという面が見られたりもするようです。時には、確かに善意で福祉的な施設などでお助けするつもりであったとしても、「ために」という大義名分で、自己満足的なものとなっていることに気がつかず、かえって押しつけがましく相手を傷つけてしまっていたりということがあるかもしれません。

ですから、「ために」というよりは、「共に」あるいは「一緒に」ということが求められているのだというのです。むずかしいことかもしれませんが、私たちは相手のためにというよりは、相手と共に、同じ土俵、同じ立場に立ち、少しでも相手の身になって一緒に悩んだり、苦しんだりすることができたらいいんだらうなあと思うのです。

ある本に、福祉施設で働いている青年の話が紹介されていました。その青年はそこで働くようになって数年を経て、どうしても障害ある人と溶け込めなくて、「この仕事は自分に向かないのでは……」と落ち込むようになっていたそうです。そんなある日、父兄会があり、施設にいる人たちの父兄や親戚の人たちが訪ねて来ました。その父兄のひとりが、

彼を職員とは知らずに彼の頭をなでて、「がんばりなさいよ」と励ましたらしいのです。彼は障害者に間違えられたというので一層落ち込み、上司に「私はこの仕事に向かないのでやめます」と打ち明けました。すると上司は「彼らといっしょに見られたというのは、これで君も一人前になったということだよ」と言ったそうです。

聖書にはこう記されています。

キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

(『ピリピ人への手紙』2章6、7節)

このように、イエス・キリストというお方は、私たちの弱さや苦しみを知ることのできる私たちと同じ人間になってくださったのですが、最後にはまぎれもない罪人と同列におかれて、十字架につけられたことに象徴されるように、なんと私たちの罪とさえ連帯してくださったのです。それは私たちの罪の身代わりとなり、私たちを罪から救い、私たちも他者と連帯する者となるためであることは言うまでもありません。私たちも「ために」だけでなく、少しでも悩み苦しむ者と「共に」なれたら幸いですと思うのですが、いかがでしょう。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/3(土)ライフ・ラインのつどい in 北海道(函館)
「神様からの贈り物」関根弘興牧師

この6月に北海道函館市で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、ハーブ奏者のキャサリン・ポーターさんが演奏をし、関根弘興牧師が「神様からの贈り物」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。番組では、そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

